

「山形市市民防災センターの概要」

令和5年度版



山形市消防本部・山形市市民防災センター

令和6年4月

はじめに

山形市市民防災センターは、市民の防災に関する知識と技術の普及を図り、安心・安全で災害に強いまちづくりを推進する「防災学習の拠点」として平成24年10月にオープンしました。

令和5年度は、公益財団法人日本公衆電話会のご協力を得まして、生の声による安否確認ができる災害用伝言ダイヤル「171」のデモ機を10月に設置、新たな体験項目の1つとして追加するなど、初期消火体験の映像についても更新しリニューアルを図っています。

開所以来の来館者数は延べ**126,821**人(令和6年3月31日付)で、山形市民はもとより、県内外からも多くの方にご来館頂き、防災に対する意識の高さを感じております。

令和5年度は、新型コロナウイルス新規感染者数が減少傾向に向かい、5月8日に2類感染症から5類に移行されるなど、当防災センターでは、来館者の入館者数の制限を緩和しつつ、室内の換気やマスクの着用に配慮を図り開館しています。

令和5年度の来館者状況を鑑みると、コロナウイルス感染拡大の令和2年度を起点に3年間は減少していますが、その後、徐々に回復傾向となっています。特に、個人来館者より団体による社会福祉関係者や事業所、保育園や幼稚園などの来館者数が増数となっています。

令和5年度の県内で発生した自然災害を顧みると、5月から9月にかけて太平洋高気圧に覆われた日が続くなど、日最高気温が35℃以上の猛暑日となった日が多く、山形気象観測所による8月の山形市は、月平均気温が28.7℃で、統計開始以来の1位を更新しています。

山形市と山辺町・中山町を含めた救急出動件数は、12,747件(年)で年々増加傾向にあり、前年よりも705件多く、急病が全体の66.3%を占めています。

県内では、熱中症による救急搬送人員が、1,111人で平成20年以降最多となっています。

火災発生件数は、57件(年)で前年度より5件多く、出火原因は、放火(疑いを含む)とたき火、たばこ火がワースト3になっています。

また、初期消火実施件数は40件で実施率は70%、その内の成功数は17件で成功率は43%になっています。

全国の災害状況は、1月1日16時10分に石川県能登半島で地震が発生、地震の規模は志賀町・輪島市でマグニチュード7.6の最大震度7を観測している。建物の倒壊や津波(珠洲市で1分以内に沿岸到達、能登町で高さ4.7m)による被害、地盤の隆起は、防潮堤や沿岸の岩礁が約4m隆起するなど、土砂災害や地盤面の液状化現象も確認されています。

被害状況として、死者241名、負傷者1,299名、倒壊建物全壊8,010棟、半壊13,990棟、床上浸水6棟など、改めて地震の怖さを再認識させられています。

今後、震災から見えてくる様々な現状の把握に努め、教訓として悲惨な災害の記憶を銘記し、地球温暖化により激甚化・多発化する自然災害等への対応や、火災による被害の軽減を検証するなど、学習コーナーを活用し最新の情報提供を行うとともに、災害の事案を風化することなく語部となり、子供から大人まで気軽に楽しみながら、防火・防災・減災に関する学びの場として、市民防災センターの更なる充実強化を図ってまいります。

令和6年4月

目 次

1	市民防災センターの概要	1
2	来館者状況	
(1)	年度別来館者状況	2
(2)	月別来館者状況	2
(3)	団体別来館者状況	3
(4)	在住別来館者状況	4
(5)	体験施設別利用者状況	4
(6)	防災学習室・展示等利用状況	5
3	防災センターの自主事業	5
4	情報の提供	5

1 市民防災センターの概要

(1) 所在地

山形市西崎9番地1

電話023-643-1191 FAX023-643-1193

(2) 建築構造・規模等

鉄筋コンクリート構造（免震構造）地上2階建

建築面積 370.288㎡

延床面積 628.58㎡（1階 368.28㎡ 2階 260.30㎡）

敷地面積 20,282㎡

(3) 開館時間・休館日

開館時間 午前9時30分～午後4時00分

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）年末・年始（12月29日～1月3日）

入館料 無料（体験時間は、おおむね1時間30分）

(4) 利用方法

団体で10名以上の利用は、電話予約と利用申込書の提出が必要です。

個人で利用の場合は、事前予約は必要なく、いつでも利用できます。

(5) 施設概要

7つの体験施設・展示施設等

階別	体験・展示施設名	主な内容
1階	受付・案内	予約受付・館内の案内
	施設概要・案内マップ	館内の展示に関する紹介
	消防の仕事・主な災害 自主防災組織	消防の仕事写真を紹介、日本・山形県・市管内の災害を紹介 自主防災組織に関する情報を紹介
	消防士なりきり体験	防火ヘルメット・防火衣を着て消防士になりきる体験
	消火体験	ストーブ火災・電気火災・てんぷら油火災等の初期消火として、消 火器の使い方を体験、天ぷら油消火実験装置による学習
	地震体験	東日本大震災等過去の地震を震度7まで再現し、普段の心構えや、 いざという時の行動を体験
2階	防災学習室	研修教材を上映し、防災等の知識を身に付け、併せて自主防災組織 の活動支援
	地震と日頃からできること	日頃からできる防災対策や関連商品・設備を紹介
	煙体験	煙の中を避難し、姿勢を低くする、口を覆う等の有効な避難方法を 体験
	応急手当体験	映像で応急手当・心肺蘇生法を学び、訓練用人形とAEDで正しい 応急手当を体験（小児用人形も完備）
	119番通報体験	タッチパネル映像や対話式通報体験を使い、火災・救急の119番 通報を体験
	防災コーナー	土砂災害マップや防災支部・市避難場所を地図で紹介
	災害用伝言ダイヤル体験	（財）日本公衆電話会の協力を得て、デモ機による「声の伝言板」 として、自分の声で伝言を登録し安否確認ができる。

2 来館者状況

(1) 年度別来館者状況

令和2年度から、新型コロナウイルス感染拡大の煽りを受け激減しておりましたが、感染防止対策を始めとし徐々に右肩上がりの回復傾向を示しております。令和5年度は、前年より166人増の10,386人で、月平均約866人、1日平均約29人でした。

年度 区分		H24 ~H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
個人	大人	7,514	2,750	3,191	3,117	3,344	1,736	2,415	3,142	3,168	30,377
	子供	4,843	1,055	1,018	1,095	1,027	979	1,342	2,020	1,900	15,279
個人合計		12,357	3,805	4,209	4,212	4,371	2,715	3,757	5,162	5,068	45,656
団体数		1,199	259	318	300	314	132	172	210	233	3,137
団体人員		29,799	7,157	8,738	7,522	8,964	3,896	4,713	5,058	5,318	81,165
個人・団体 合計		42,156	10,962	12,947	11,734	13,335	6,611	8,470	10,220	10,386	126,821

(2) 月別来館者状況

年度 区分	H24 ~H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
4月	1,479	330	520	400	686	0	199	307	271	4,192
5月	4,469	1,114	1,585	1,465	1,330	36	520	798	697	12,014
6月	4,708	1,499	1,991	1,749	2,347	165	568	940	983	14,950
7月	4,894	1,838	1,831	1,422	2,244	407	669	1,005	710	15,020
8月	2,732	668	912	792	795	520	908	599	660	8,586
9月	2,885	827	1,164	1,322	919	946	641	945	882	10,531
10月	6,074	1,040	1,436	1,283	1,539	1,771	1,528	1,499	1,543	17,713
11月	6,597	1,570	1,297	1,136	1,674	1,229	1,727	2,428	2,790	20,448
12月	2,456	593	467	408	545	644	1,010	679	474	7,276
1月	1,246	306	486	320	455	182	251	212	371	3,829
2月	1,871	498	584	711	778	362	148	390	478	5,820
3月	2,745	679	674	726	23	349	301	418	527	6,442
計	42,156	10,962	12,947	11,734	13,335	6,611	8,470	10,220	10,386	126,821

開館以来の最多月間来館者数は、これまで令和4年11月の2,428人でありましたが、令和5年11月の2,790人と記録を更新しております。理由については、消防フェスティバル開催に伴うものです。

(3) 団体別来館状況

区 分		年 度		H24	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
		団体	人数	～H27									
保育園 幼稚園	団体	92	33	33	29	36	18	14	21	25	301		
	人数	4,716	1,090	1,378	1,038	1,455	741	572	509	723	12,222		
学 校	小・中	団体	109	35	39	40	52	46	46	59	38	464	
		人数	5,005	2,107	2,502	2,094	2,914	2,180	2,303	2,517	1,854	23,476	
	高/専 大/支援	団体	22	9	9	10	12	1	5	7	15	90	
		人数	516	234	266	225	322	8	153	145	220	2,089	
高齢団体	団体	32	15	9	12	17	2	0	1	2	90		
	人数	780	326	142	195	331	29	0	13	30	1,846		
福祉関係	団体	83	13	24	16	20	8	6	28	30	228		
	人数	1,357	201	419	287	300	143	110	378	510	3,705		
事業所 各種団体	団体	488	88	128	107	114	39	77	61	73	1,175		
	人数	9,098	1,738	2,574	2,249	2,513	525	1,161	993	1,130	21,981		
自治会 町内会	団体	176	35	31	32	20	7	6	12	29	348		
	人数	3,529	690	582	509	370	92	86	169	376	6,403		
自主 防災会	団体	89	20	26	31	29	7	10	14	10	236		
	人数	2,074	462	556	553	518	89	116	184	128	4,680		
消防関係	団体	108	11	19	23	14	4	8	7	11	205		
	人数	2,724	309	319	372	241	89	212	150	347	4,763		
団体合計	団体	1,199	259	318	300	314	132	172	210	233	3,137		
	人数	29,799	7,157	8,738	7,522	8,964	3,896	4,713	5,058	5,318	81,165		

※ 団体区分について

- ・高齢者団体とは、65歳以上の方の団体で福祉施設を除きます。
- ・福祉関係とは、高齢者や障がい者の福祉施設などです。
- ・消防関係団体とは、消防団、女性防火クラブ、幼年消防クラブなどです。

(3) 在住別来館者状況（山形市・山形市以外の県内・県外）

山形市内が約74.7%、山形県内(山形市を除く)が約23.0%、県外が約2.3%となっています。

県内来館者は、村山地区や、置賜地区から多く利用されており、県外の来館者は主に宮城、福島からとなっています。

年度 区分	H24 ~H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
山形市 在住	31,400	8,044	9,779	8,254	9,526	4,653	6,078	7,222	7,755	92,711
県内在住 (山形市以外)	9,636	2,487	2,760	2,737	3,288	1,925	2,345	2,893	2,389	30,460
県外在住	1,120	431	408	743	521	33	47	105	242	3,650
上記のうち 外国人	131	39	57	181	11	0	0	0	0	419

(5) 体験施設別利用者状況

体験施設別の利用は、地震体験、煙体験、消火体験の順に体験者が多くなっています。

また、公益財団法人日本公衆電話会の協力を得て、災害伝言ダイヤルのデモ機を借用し、令和5年10月から体験項目に災害伝言ダイヤル体験「171」を追加しております。

年度 区分	H24 ~H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
消防士 なりきり体験	7,808	2,828	3,256	3,002	3,185	1,084	1,540	1,537	1,807	26,047
地震体験	17,169	6,449	7,693	6,864	8,430	4,203	5,141	5,823	5,741	67,513
消火体験	24,282	5,240	6,120	5,923	6,688	3,718	4,293	4,894	4,621	65,779
煙体験	14,975	5,407	6,351	5,781	7,061	3,302	4,169	4,631	4,736	56,413
119番 通報体験	14,303	1,911	2,231	1,802	1,438	860	1,219	1,277	1,359	26,400
災害伝言 ダイヤル									795	795
応急処置 体験	3,908	1,176	1,394	1,102	1,101	636	634	916	1,514	12,381
計	82,445	23,011	27,045	24,474	27,903	13,803	16,996	19,078	20,573	255,328

※安全面を考慮して「地震体験」は5歳未満、「煙体験」は小学生未満に体験制限を設けています。

(6) 防災学習室・展示等利用状況

防災学習室では、過去の災害や防災に関する映像等を上映し、災害時の心構えに対する防災知識の向上を図り、「備えること」への動機付けを行う場所になっています。

相談室では、自主防災組織及び町内会等の訓練・防災等の相談を受けています。

年度 区分	H24 ~H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
防災学習室	1,853	270	260	279	323	154	117	114	94	3,464
災害の歴史	4,244	1,332	1,273	1,429	1,247	842	1,105	1,246	1,101	13,819
自主防災 コーナー	4,197	1,342	1,271	1,433	1,253	841	1,107	1,231	1,098	13,773
地震 コーナー	3,772	845	900	992	903	724	951	1,092	940	11,119
防災 コーナー	3,946	843	891	976	902	710	941	1,088	920	11,217
相談室	52	41	73	76	57	19	48	46	51	463
計	18,064	4,673	4,668	5,185	4,685	3,290	4,269	4,817	4,204	53,855

3 防災センターの自主事業

令和5年度は、学童保育指導員のための防災学習会・親子防災学習会・幼年消防クラブ指導者のための防災学習会・ガールスカウト防災学習会の4つの事業について計画し、幼年消防クラブ指導者のための防災学習会のみ中止となっており、自主事業の参加人数は84人で、開始以来の最多人数となっています。内容として、地震・煙・初期消火・応急手当・119番通報・災害伝言ダイヤルの各体験を実施した他、天ぷら油燃焼実験を見学して頂き、天ぷら油の発火現象や煙・熱感知器の感知度の相違、水を掛け消火した場合の現象を体験して頂いております。

その他に、レクリエーションとして被覆包帯法・搬送法・ロープ結索の実体験を初め、参加者から要望を受け「防災クイズ問題」を設けるなど、意見交換を活発化させ防災に関する学習を通し、楽しみながら防災に理解を深めて頂くよう努めております。

合わせて、カリキュラムを受講した小学生・中学生には、「家庭の防火管理者」としてのファイヤーキッズ認定証を交付しており、平成21年度の開始以来最多の58人となっております。

さらに、自主事業の他に、小学生以下の子供たちを対象に「ぬりえコンテスト」を開催し、123枚の自作した「ぬりえ」を頂き、防災センター内に張り出しなどを行っております。

4 情報の提供

山形市公式ホームページや、さくらんぼテレビが発行している「やまがた防災ガイド」に、市民防災センターの体験学習内容や施設・設備の案内を開示しております。

また、市民防災センターで行っている自主事業の開催と案内の募集など、報道機関を通じ広報を行っており、今後とも市民の皆様へ、より身近な情報を提供するよう努めてまいります。